

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドハート二丈		
○保護者評価実施期間	R 6年12月 1日		R 7年2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	R 6年12月15日		R 6年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R 7年 3月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動スペースが区切られており、運動、学習と部屋を分けて集中して行うことが出来る。	安全に活動が出来るため、静と動の活動で部屋を分かれて行っています。	活動の幅の充実を図っていきます。
2	保育士、作業療法士等、専門職を配置している。	専門性を持った支援を行い、お子様の特性に合わせた支援を行っています	毎月の研修、勉強会にて専門知識の向上を図っていきます。
3	イベント活動や戸外活動の積極的な参加。	地域で行われているイベントや季節行事などに積極的に参加を行っています。	

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニング等の家族支援の不足	ペアレントトレーニングの場が提供できていない。	開催に向け、法人間で話し合い、準備を行って行きます。
2			
3			

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドハート二丈		
○保護者評価実施期間	R6年12月1日		~ R7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	R6年12月15日		~ R6年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月15日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動スペースが区切られており、運動、学習と部屋を分けて活動を行なっている。	安全に活動が出来るため、静と動の活動で部屋を分かれて行っています。	活動の幅の充実を行って行きます。
2	保育士、作業療法士等専門職を配置している。	専門性を持った支援を行い、お子様の特性に合わせた支援を行なっています。	毎月の研修勉強会にて専門知識の向上を図っています。
3	イベント活動や戸外活動の積極的な参加。	地域で行われているイベントや季節行事などに積極的に参加を行なっています。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアトレーニングなどの家族支援の不足	ペアレントトレーニングの場が提供できていない。	開催に向け法人で話し合い、準備を行って行きます。
2			
3			

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名						公表日	R7年 3月 29日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		・基準に応じたスペースを確保しています。 ・活動内容により狭く感じる事もあるので活動に応じて使い分けを行って行なっています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		・基準人員と加配の職員を配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		・学習スペースと活動スペース等居室を分けて行っている。トイレに一段段差がありません。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日お子様を送迎後、清掃と片づけを行ない清潔に保てるようにしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		クールダウンに使用したり、個別に対応を行う部屋も確保しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		朝礼、終礼、事業所ミーティングを活用しながらPDCAに努めています		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎年保護者様アンケートを実施しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		面談や、会議等みんなで意見を出しやすい雰囲気作りを行なっています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		外部評価なし		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		本部主催の年3回の管理者研修や、指導員向け研修、その他、虐待、感染症、身体拘束等様々な研修に参加しています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		5領域を含む支援プログラムを作成し公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		共通のアセスメントツールを使用しながら、子ども達の計画を作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		個別支援会議や日々の振り返りの中で情報を共有し検討を行なっています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		計画書をいつでも確認できるようにしており、支援後にも計画書に沿って記録を残しています		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		共通のアセスメントツールを使用しながら、子ども達の計画を作成しています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		ガイドラインに沿って計画をしております。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		活動内容を話し合い担当を振り分けながら立案を行なっています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		季節の行事などを組み合わせながら計画を立てています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		個別の目標や、集団での目標など子ども達に合わせて計画作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		朝礼の際に保護者様からの連絡や、当日の活動内容の確認を行なっています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		終礼の際に保護者様からの連絡や、当日の活動内容の振り返りを行なっています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		毎日支援記録の作成を行なっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		半年に一度モニタリングを行い、アセスメントを行いながら計画を立てる。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児発管と直接支援のスタッフと会議に参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		必要に応じて連携しながら支援を行なっている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		情報の共有を行い、移行後もスムーズに支援が継続できるよう連携を行って行きます。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		送迎の際や電話でやり取りを行っていないながら情報の共有を行って行きます。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	2	研修などがあれば積極的に参加していきます。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8		同法人の事業所のお友だちとの交流は行っています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		共通理解を持って支援が出来るよう話し合いを重ねています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5	ペアトレは十分に出来ていないため、保護者を活用しながら行って行きたいと思っています。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		丁寧に説明が出来るよう心掛けています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		計画書などサインを頂き、納得が出来る形で支援を行って行きます。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		計画書などサインを頂き、納得が出来る形で支援を行って行きます。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		今後も保護者様の不安が軽減できるよう努めてまいります。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		保護者会の充実を図っていき、交流が出来る機会を設けていきます。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		可能な限り対応が出来るよう体制を整備し、周知を行なっています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		お便り、Instagramにて事業所の情報を発信させて頂いています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		鍵付きの書庫にて個人情報の保管を行なっています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		保護者様の要望に応じ、媒体を替えながら行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3	地域住民の方を招待しての行事はありませんがコミュニケーションは図れています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		マニュアルを策定し、発生した場合の訓練も実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		BCPの訓練も、机上訓練など状況を想定して行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		契約時に聞き取りを行い、確認を行なっています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		該当児童なし。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画を策定し、点検を行いながら支援を行なっています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		十分に周知できるようSNSなども使用しな発信していきます。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		その都度ヒヤリハットを作成、事業所内で周知し、再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		研修やチェックシートを使用し、虐待の芽が出ないように努めています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		該当児童なし。		

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		チャイルドハート二丈		公表日		R 7 年 3 月 2 9 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		・基準に応じたスペースを確保しています。 ・活動内容により狭く感じる事もあるので活動に応じて使い分けを行って行なっています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		・基準人員と加配の職員を配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	・学習スペースと活動スペース等居室を分けて行っている。トイレに一段差があります。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	毎日お子様を送迎後、清掃と片づけを行ない清潔に保てるようにしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		クールダウンに使用したり、個別に対応を行う部屋も確保しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		朝礼、終礼、事業所ミーティングを活用しながらPDCAに努めています		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎年保護者様アンケートを実施しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		面談や、会議等みんなで意見を出しやすい雰囲気作りを行なっています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		外部評価なし		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		本部主催の年3回の管理者研修や、指導員向け研修、その他、虐待、感染症、身体拘束等様々な研修に参加しています。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		5領域を含む支援プログラムを作成し公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		共通のアセスメントツールを使用しながら、子ども達の計画を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		個別支援会議や日々の振り返りの中で情報を共有し検討を行なっています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		計画書をいつでも確認できるようにしており、支援後にも計画書に沿って記録を残しています		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		共通のアセスメントツールを使用しながら、子ども達の計画を作成しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		ガイドラインに沿って計画をしています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		活動内容を話し合い担当を振り分けながら立案を行なっています。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		季節の行事などを組み合わせながら計画を立てています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		個別の目標や、集団での目標など子ども達に合わせて計画作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		朝礼の際に保護者様からの連絡や、当日の活動内容の確認を行なっています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		終礼の際に保護者様からの連絡や、当日の活動内容の振り返りを行なっています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		毎日支援記録の作成を行なっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		半年に一度モニタリングを行い、アセスメントを行いながら計画を立てる。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		活動に偏りが出ないように計画をしています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		子ども達と一緒に考え自己選択が出来るよう支援しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児発管と直接支援のスタッフと会議に参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		必要に応じて連携しながら支援を行なっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		情報の共有を行い、移行後もスムーズに支援が継続できるよう連携を行って行きます。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		情報の共有を行い、移行後もスムーズに支援が継続できるよう連携を行って行きます。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		情報の共有を行い、移行後もスムーズに支援が継続できるよう連携を行って行きます。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		研修などがあれば積極的に参加していきます。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	2	同法人の事業所のお友だちとの交流を行っています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8		研修への参加を今後も行って行きたい。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		共通理解を持って支援が出来るよう話し合いを重ねていきます。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		ペアトレは十分に出来ていないため、保護者を活用しながら行って行きたいと思います。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		丁寧に説明が出来るよう心掛けています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		計画書などサインを頂き、納得が出来る形で支援を行って行きます。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		計画書などサインを頂き、納得が出来る形で支援を行って行きます。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		今後も保護者様の不安が軽減できるよう努めてまいります。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8		保護者会の充実を図っていき、交流が出来る機会を設けていきます。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		迅速丁寧に対応が出来るよう努めてまいります。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		お便り、インスタグラムにて事業所の情報を発信させて頂いています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		鍵付きの書庫にて個人情報の保管を行なっています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		保護者様の要望に応じ、媒体を替えながら行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		地域住民の方を招待しての行事はありませんがコミュニケーションは図れています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		マニュアルを策定し、発生した場合の訓練も実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		BCPの訓練も、机上訓練など状況を想定して行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		契約時に聞き取りを行い、確認を行なっています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		該当児童なし。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画を策定し、点検を行いながら支援を行なっています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		十分に周知できるようSNSなども使用しな発信していきます。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		その都度ヒヤリハットを作成、事業所内で周知し、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		研修やチェックシートを使用し、虐待の芽が出ないように努めています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		該当児童なし。		